外五つ折り(w80×h120mm)



肢体 に障がいのある人への支援

(特に下肢)

- 可能ならば車いすごと搬送、 無理ならば人だけを搬送
- 坂・階段を上がるときは前向き、 下るときは後ろ向きにして搬送



昇る場合重いすは前向き

- 出入り口・トイレなどに近いところ
- 車いす使用者のため通路幅は 90㎝以上を確保
- 電動車いす使用者のため 充電器を準備

聴覚 に障がいのある人への支援

- ・視界に入りお手伝いの意思表示
- 音声情報は視覚情報に変えて伝達

避難所

- 明るいところで1対1で対応
- 孤立させず常に声かけ
- 補聴器用の電池の確保

「大丈夫ですか」の手話



①右手を左わきの下におく



②右わきに動かす

視覚 に障がいのある人への支援

避難時

- 周囲の状況を詳しく口頭で説明し 不安を除去
- 手引きの際は足元のみならず 上半身のバリアにも注意
- 緊急を要する場合は許可を得て搬送

避難所

- 入り口・トイレから近く 伝い歩きしやすい壁側を確保
- 変化があったら随時 口頭で説明し不安を除去



内部 障がい

- 継続治療ができないと体調不良になる 可能性が高いので早めに医療班に連絡
- 見えない障がいなのでプライバシーに注意

知的 障がい

- できるだけ慣れた人と一緒
- パニック状態になっても非難せず見守り

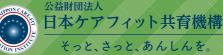
精神 障がい

- 服薬治療が中断されると症状が悪化する 可能性が高いので早めに医療班に連絡
- 障がいがあることを知られたくない人もいるので。 プライバシーに注意

高齢者

服薬治療が中断され悪化したり 水分摂取を控え脱水症状になったり 体調が変化しやすいので注意







災害時における避難のポイント

各災害避難 Point

まず自分の身を守る

- ▶余震と火災に注意して避難
- ▶周辺住民の救助救出

- ▶海抜の高い場所になるべく徒歩で避難
- ▶間に合わないときは鉄筋ビルの上階に避難
- ▶一度避難したら二度と低いところに戻らない

<火山噴火

- ▶ヘルメット・マスクの着用
- ▶行政の避難誘導に従い警戒区域や 立ち入り禁止命令の順守
- ▶長期化することを覚悟で避難

- ▶気象情報・天候に関する予警報に注意
- ▶避難準備情報・避難勧告・避難指示に従う
- ▶ 浸水50cmで移動が困難になるので早めの避難

- ▶ 予兆の発見に努め土砂災害警戒情報に従い 早めの自主避難
- ▶ 土石流・がけ崩れ・地すべり・深層崩壊などの 危険地域の把握

- ▶ すぐに消防へ連絡、炎が天井近くまで達したら 消火器消火は不可能
- ▶ 濡れた布で鼻と口を多い身を低くして避難
- ▶ 逃げ遅れた人がいても 自分で救助せず消防隊に依頼

原子力災害

▶ 災害発生を知ったら、すぐに、遠くに、 放射線を遮るところに避難

テロ災害

- ▶ 風上・上流・高台に避難
- ▶ 触れない・摂らない・吸い込まない・刺さない
- ▶ 屋内退避で隙間をテープでふさぐ
- ▶ パニックにならないよう冷静に行動

傷病者の体位

適切な体位をとらせることで、 苦痛をやわらげることができる。

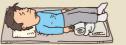
▼ 胸部打撲、 胸が苦しい時の体位 ▼ 腹部打撲、 腹痛時の体付







▼ 意識がない場合などの体位。 舌根沈下、気道閉塞を防ぐ





骨折の応急方法

なるべく早く固定する。









③首の後ろで結ぶ



②下に垂れている一端を 患部側の腕を 包むようにして上げる。



④ひじ側の先端を 結んでまとめる。

止血方法

出血部分を直接圧迫にて止血する。

- ①上から清潔なガーゼなどで強く押さえて圧迫する。
- ②なかなか止まらないときは、さらに上に物を当てて圧迫する。





③包帯を腕の末端から巻いていく。

支援活動における最優先は、あなた自身の安全です。



日本ケアフィット共育機構

そっと、さっと、あんしんを。

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-2-6

TEL: 0120-0610-64 FAX: 03-6261-2334

http://www.carefit.org/

*本冊の内容の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。